

### ムスリムとのコミュニケーション

挨拶(英語、マレー語、インドネシア語)

| 日本語                | 英語                               | マレー語、インドネシア語<br>(一部を除き、共通)  |
|--------------------|----------------------------------|---|
| おはようございます          | Good morning.                    | Selamat pagi.(スマッパギ)  |
| こんにちは              | Hello.                           | *マレー語:<br>Selamat petang.(スマッパン)  |
|                    |                                  | *インドネシア語:<br>Selamat siang.(スマッサン)  |
| こんばんは              | Good evening.                    | Selamat malam.(スマッラム)   |
| ようこそ               | Welcome.                         | Selamat datang.(スマッダタン)   |
| ありがとうございます         | Thank you very much.             | Terima kasih.(テリマカシ)  |
| ごゆっくり<br>おくつろぎください | Please make yourself<br>at home. | Silakan menikmati istirahat anda dengan<br>tenang.(シラカン ムニマティイストラハッ アンダ<br>デンガントナナ) |
| さようなら              | Good bye.                        | Sampai jumpa lagi.(サマッパイ ラギ)  |
| またお越し下さい           | Please come back soon.           | Tolong datang lagi.(トロン ダタン ラギ)   |
| よい旅を               | Have a nice trip !               | Selamat jalan.(スマッ ジャラン)  |

発行 \_\_\_\_\_  
 國土交通省中部運輸局  
 観光部国際観光課 TEL.052-952-8005  
 〒460-8528 名古屋市中区三の丸 2-2-1  
 名古屋合同庁舎第一号館

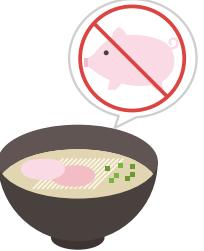
監修 \_\_\_\_\_  
 名古屋モスク

### 食事

安心できる食事は旅行を楽しくします。

**豚肉を提供しない**  
 豚肉およびハム、ベーコン、サラミといった豚肉の加工品を提供しないようにし、豚肉が入っていないことを伝えると喜ばれます。

**豚由来成分の原材料(豚骨出汁、ラード、ゼラチン、動物性ショートニング等)を使わない**  
 動物由来のもの(特に豚由来の成分)は敬遠されます。  
 同様の効果をもたらす植物性の調味料に切り替え、かつ植物性であることを明示するとよいでしょう。



**酒類を提供しない**  
 ムスリムは飲酒が禁じられているため、酒類の提供を避けましょう。  
 また、客室の冷蔵庫に、パッケージが清涼飲料水と誤認しやすい酎ハイが置いてある場合は、「Alcohol」と表記をする等の配慮があるとよいでしょう。



5

**アルコールが含まれる調味料(アルコール添加醤油等)、みりんを使わない**  
 アルコール添加の醤油やみりん等を避けられるムスリムの方がおられます。  
 アルコール成分を含まない調味料があれば安心して頂けます。また、アルコールが入っていないことを伝えると喜ばれます。

**料理のメニューに原材料を表記する**  
 各飲食店や施設で、使用している原材料や調味料を明記し、ムスリムがそれを把握出来るようにするとよいでしょう。  
 特に豚肉やアルコールの使用については、明確にすることが求められます。  
 適宜ピクトグラムを用いながら、言語バリアフリーにも配慮するといいでしょう。





メニュー表に原材料を表示

6

### ムスリム旅行者受入の心得

従業員編

ようこそ昇龍道へ!



国土交通省 中部運輸局  
(宗教法人名古屋モスク 監修)

### これだけは知っておきましょう！

## ムスリムへの対応方法

**接客 おもてなし**  
 ムスリムの戒律を理解した上で  
 日本ならではのおもてなしをしましょう。

**厳格な性倫理に配慮する**  
 ムスリムは性に対し厳格であるため、客室の有料ビデオ、ポルノ写真等が掲載された雑誌などの設置は避けることが求められます。

**異性に接触しない**  
 ムスリムは家族・親戚以外の異性とは接触できないことから、握手も含め、配慮が必要となります。

**接客に配慮する**  
 ホテル・旅館等、ムスリムの女性が、男性スタッフに案内され、客室に二人きりになる場面はできるだけ避けるようにします。  
 どうしても避けられない場合は、ドアを開けておくなどの配慮が必要となります。

**化粧室の使用方法を説明する**  
 ムスリムは男性でも個室のトイレを使い、用便の後に陰部を洗浄する習慣があります。  
 ウオッシュレット等の自動洗浄機能の使い方がわからないムスリムが多いので、説明書きを揭示するとよいでしょう。

近隣のムスリム向け施設の情報提供  
 近隣のムスリム向けのサービスを情報している施設の情報を提供できるとよいでしょう。

**公衆浴場 温泉の利用**  
**温泉の時間貸しまたは、家族風呂・個人風呂の部屋を活用する。**  
 ムスリムは温泉に入りたいという希望はあるものの、人前で裸になることができないため、敬遠されています。  
 家族風呂や個人風呂がある施設では、それを有効に活用することが望まれます。

**買い物**  
**豚由来成分、動物由来成分(ショートニング、ゼラチン、動物性油脂)の使用を明確にする。**  
 土産用菓子、化粧品等、原材料がわかるような英語表記あるいはピクトグラム等で明示できるとよいでしょう。  
 また、原材料は豚由来成分、動物由来成分の使用がわかるようにするとよいでしょう。  
 さらに、事前に製造元の問合せ先を示しておくと良いでしょう。  
 ムスリムが安心して購入出来る物品を集めた特設コーナーを設けると、安心して利用することができるようになります。

7

**礼拝**  
 ムスリムに欠かせない礼拝しやすい環境でおもてなしましょう。

**簡易的な礼拝スペースを用意する**  
 ムスリムは1日5回、礼拝を行います(夜明け前の礼拝、朝の礼拝、午後の礼拝、日没時の礼拝、夜の礼拝)。  
 礼拝の時間は太陽の動きにより左右されますが、インターネット等での時間を調べることができます。  
 6畳ほどの礼拝専用の部屋(さらに可能であれば、男女別の部屋)があれば申し分ありませんが、専用の部屋でなくとも、清潔で静かな部屋、あるいは様々な用途で使われているスペースでも代用は可能です。  
 清潔で静かな場所であれば、土間でも屋外でも、どのようなスペースでも礼拝はできます。



様々な場所で礼拝することができます

**ウドゥ(手足の洗浄)のための手洗い場等を提供する**  
 礼拝の前には、手・口・鼻・顔・腕・髪・耳・足を水で清める必要があるため、可能であれば礼拝室や礼拝スペースの近くの洗面台(可能であれば足が洗いやすい水場スペース)を提供するとよいでしょう。  
 周辺が水で濡れる事を理解し、あらかじめスリップ、タオル、ペーパータオルを用意しておく配慮があるとよいでしょう。

8

**礼拝マットを貸出する**  
 清潔な場所で礼拝をするため、床に礼拝用マットを敷くことが一般的です。  
 半畳分程度の大きさの貸し出し用のマットを準備しておくとよいでしょう。



礼拝マット

**キブラの方向を把握し、マークを付ける、あるいはキブラ・コンパスを貸出する**  
 礼拝は、メッカの方向(キブラ)を向いて行います。  
 礼拝スペースの天井にキブラの方向を示す矢印のステッカーなどを貼るとよいでしょう。  
 天井への貼付が難しい場合は、テープの上、あるいは引き出しの中に矢印を貼付することも有効です。  
 方角を調べるためのキブラ・コンパスを貸し出すことも有効です。  
 また、スマートフォンのアプリでも方角を調べることもできます。

**最寄りのモスクを把握し、案内出来るようにしておく**  
 ムスリムが近隣のモスクで礼拝を希望することもあるため、場所を把握し、地図を用意しておくとよいでしょう。

9